

ばらのまち福山



FUKUYAMA

ふくやま 市議会だより



今回の定例会は

3月 6月

No.64

12月 9月

5月臨時会 6月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会

発行日 / 2017年(平成29年)8月1日

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

ローズアリーナ
屋外飛び込みプール(緑町)

5月臨時会・6月定例会の概要	2
議案の審議結果	3
一般質問	4～9
委員会の活動	10
政務活動費の執行状況	11
議会報告会	12

5 月臨時会



池上文夫副議長

■副議長の略歴

池上 文夫 副議長

平成12年から現在までの間
民生福祉常任委員会委員長、
都市整備特別委員会委員長な
どを歴任
神村町、65歳

5月15日、臨時会を開き、副議長の辞職に伴う後任の選挙を行い、池上文夫議員を選出しました。
また、議会選出の監査委員の選任同意、広島県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行いました。
このほか、損害賠償の額を定めること及び和解の専決処分の報告があり、福山市税条例の一部改正など3件の市長専決処分を承認、水道及び病院事業会計補正予算案など4件を原案のとおり可決、審査請求に係る諮問1件について答申しました。

■議会選出監査委員の略歴

熊谷 寿人 委員

平成12年から現在までの間
建設水道常任委員会委員長、
議会運営委員会委員長などを
歴任
水呑町、62歳

塚本 裕三 委員

平成12年から現在までの間
文教経済常任委員会委員長、
行財政改革特別委員会委員長
などを歴任
水呑向丘、59歳

6 月定例会



平成29年6月定例会（6月19日～7月4日／会期16日間）の概要は次のとおりです。

19日 1件の市長専決処分の報告、平成28年度一般会計繰越明許費など5件の予算に関する報告、福山市土地開発公社などの事業経営状況の報告の後、市長が市政の状況と15議

案の提案理由を説明

請願1件を、紹介議員の説明の後、総務委員会に付託

26日から29日 議案や市政全般について21人の議員が一般質問

29日質問終了後 15議案を所管の常任委員会に付託

30日 3常任委員会でそれぞれ議案等を審査

4日 議案等を審査した3常任委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれ採決し、15議案を原案どおり可決、請願1件は不採択

公平委員会の委員の選任の同意など2件の人事案件に同意

議員提出の意見書案2件を可決

この定例会で決まったこと（一部をお知らせします）

【市長提出議案】

■条例

○国民健康保険制度の安定的で持続可能な運営を図るため、国民健康保険税の介護納付金課税額の所得割の税率を2.16%から2.49%に改定します。（国民健康保険条例の一部改正）

■その他

○ごみ固形燃料工場プラント設備の改修工事に着手します。
○市立深津小学校、樹徳小学校、伊勢丘小学校および東中学校の校舎耐震改修工事に着手します。

議員提案により可決した意見書

福山市議会意思として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

◆地方財政の充実強化を求める意見書

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための2018年度政府予算に係る意見書

平成29年6月定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対									
付託委員会	議案名	水曜会 (15人)	公明党 (7人)	誠友会 (5人)	日本共産党 (4人)	市民連 (4人)	新政クラブ (3人)	無所属 (2人)	採決結果
総務	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員退職手当支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	国民健康保険税の引き上げと70歳以上の高額医療費の自己負担増を行わないことを求める要望	×	×	×	○	×	×	×	不採択
	(仮称)水呑交流館新築工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教経済	ごみ固形燃料工場プラント設備改修工事請負契約締結	○	○	○	×	○	○	○	可決
	市立深津小学校南棟校舎他耐震改修工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立樹徳小学校北棟校舎他耐震改修工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立伊勢丘小学校南棟校舎耐震改修工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立東中学校北棟校舎耐震改修工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
	財産の取得2件	○	○	○	○	○	○	○	可決
建設水道	道路標識の寸法を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業、工業用水道事業及び上下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	古屋ヶ谷池災害復旧工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	公平委員会の委員の選任の同意	○	○	○	×	○	○	○	同意
	人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めること	○	○	○	×	○	○	○	同意
	地方財政の充実強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	可決
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための2018年度政府予算に係る意見書案	○	○	○	○	○	○	○	可決

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
(一) 内には、各会派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	205分
誠友会	3人	165分
日本共産党	2人	145分
市民連合	2人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	2人	各30分

*一般質問の録画放送を
福山市のホームページで
見ることができます。



熊谷 寿人
水曜会
(60分)

福山ネウボラは

問 福山ネウボラの業務内容と相談員の配置は。

答 妊娠から学童期に至るまで子育てに関するさまざまな相談を受けていく。妊娠期は、相談窓口で母子健康手帳の交付を行い、出産前後は、相談員が支援の必要の人に対して作成している支援プラ

ンに基づき、産前・産後のサポート事業などのサービスを利用してもらうことにより育児不安等の軽減を図る。子育て期は、これまで別々であった発育相談などの母子保健と子育てに関する相談の窓口を一体的に行い、切れ目のない支援につなげていく。さらに、かかりつけ医や保健師、関係機関などと連携を図り、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を行う。

相談員の配置は、12力所の相談窓口に、看護職や保育士の資格を持つ相談員を1名から数名ずつ配置している。



高田 健司
水曜会
(60分)

福山駅前の再生は

問 リノベーションによるまちづくりの手法と福山城などの史跡を活用したまちづくりの考え方は。

答 まちに、にぎわいを取り戻したいという志を持った事業者と地域に点在する空き店舗などの遊休不動産の所有者をマッチングし



大田 祐介
水曜会
(65分)

鞆のまちづくりは

問 埋め立て架橋計画が中止となり、山側トンネル案も課題が多い。当面の通過交通処理策として鞆港内に県営フェリーを

就航し、大型車両だけでも対岸に渡せば町内の渋滞も緩和され沼隈半島を循環する周遊観光も成立するのではないか。

ていくことで、地域の特性を生かした新たな事業や雇用を連鎖的に生み出し、個々の建物だけではなく、エリア全体の価値を高めていくリノベーションによるまちづくりに取り組む。また、伏見町地区では、発掘調査により築切が確認されたほか、二重櫓などの貴重な遺構が残存していると考えられる。特に、築切は国の史跡に指定されるような重要な遺構であると既に文化庁から評価されており、歴史的な資源を生かしたにぎわいの創出や魅力の向上につなげることが重要である。

答 鞆港内におけるフェリーの運航は、海上運送法に基づき地方運輸局長の許可を得る必要がある。実現すれば、町中の交通混雑の緩和をはじめ、観光バスの利便性の向上や、沼隈半島の周遊ルートの形成、さらには、新たな鞆の魅力創出などが期待できる。

鞆のまちづくりに係る広島県の全体方針との関わりもあり、環境整備の在り方や事業主体、経営も含めた運航計画などについて広島県と連携し、検討を要するものと考えている。

* 6月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



連石 武則

水曜会
(60分)

〔仮称〕千年小中一貫教育校は

問

新たに示された計画の対象校のうち5校は学校規模・学校配置の適正化計画の検討校であり、現在地域等で説明会等を開いている。これまでの経緯からすると急転直下の政策変更と考えるが、その経緯と学校像は。

答

千年・内海中学校区の児童



石口 智志

水曜会
(65分)

介護予防・日常生活支援総合事業の今後の取り組みは

問

今後とも高齢者の数は増え続けると思われるが、支援する側とされる側という画一的な関係性ではなく、サービスを利用しながら地域とのつながりを維持できる仕組みづくりが急がれるのでは。

答

たとえ介護が必要な状態になったとしても、高齢者の尊厳を守りながら地域で自立した生活を継続するための施策を進めていくことが必要と考える。

そのため必要に応じて専門的なサービスを提供するとともに、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと協力し、住民が担い手として参加する住民団体などへ働き掛けを行い、高齢者のさまざまなニーズに応えるサービス提供体制を構築することにより、地域での支え合いの体制づくりを進める。



喜田 紘平

水曜会
(60分)

発達障がいのある子どもたちへの環境整備は

問

①就学後に発達課題が顕在化する児童が、医療機関を受診する待ち期間の短縮化は。
②医療・福祉・教育分野の連携体制の構築は。
③教育現場の個別の指導計画は。
④特別支援教育へのICTの活



中安加代子

公明党
(40分)

福山ネウボラは

問

①ネウボラ相談窓口の周知は。

②オリジナルの子育て支援アプリ開発の検討状況は。

答

①子育て家庭にとって、つながりの深い産科医や小児科医と連携を図り、保育所、民生委員等とも連携を広げていく中で周知に

用は。

〔答〕①引き続き医療機関や福山若草園との連携を図る中で、児童の支援に努める。

②就学後の課題等に対し、医療・福祉・教育分野が連携した地域支援ネットワークを構築する。

③障がい特性を踏まえた手だての具体化や指導内容の重点化が不十分等の状況があり改善に取り組む
④通級指導教室へタブレットの導入を検討しており、特別支援学級でも一人一人の児童生徒の状況に応じて活用していく。

努める。また、ホームページ、SNS、マスメディアを活用するなど効果的な周知に努める。

②「ふくナビ」と「ふくやま子育てe-支援情報」を一本化し、必要な情報を分かりやすく、リアルタイムに入手できる仕組みをつくっていく。今後、開発を予定しているアプリは、現行の「ふくナビ」の機能や電子版母子健康手帳の機能など、さまざまな既存アプリの機能を比較し検証する中で、子育て家庭のニーズも踏まえ使いやすいアプリを開発する。

※築切（P.4）：福山城の外堀と瀬戸内海につながる運河「入川」を遮断するため、石垣で固めた堤防状の土橋。外堀への船の出入りを封じ外堀の水位を保つ防御上の目的で、築城から二十数年後までの間に造られたとみられる。

※義務教育学校（P.5, P.8, P.9）：小学校6年間、中学校3年間の義務教育を、9年間の一貫した教育課程に基づき運営する新しい種類の学校。



奥 陽治
公明党
(35分)

将来のまちづくりへの 人材育成と若者の雇用対策は

問

①車座トークでいただいた生の声の政策への反映は。
②若者の雇用対策は。
③高校生議会を開催する目的は。
④市税の利便性の高い納付方法の導入は。

答

①24学区で開催し、いた



宮本 宏樹
公明党
(40分)

高齢社会における交通対策は

問

①運転免許証の自主返納者への対応は。
②高齢者支援事業の課題は。
③高齢者等の移動手段の確保は。

答

①自主的に返納するためには返納後の交通手段の確保が課題であり、引き続き乗合タクシーや高齢者おでかけ支援事業などを推

いた意見は速やかに庁内で共有しスピード感ある対応に努めている。
②若者が安心して働けるような良好な労働環境の整備が必要と考え、市内の各企業に国の施策の周知や関係機関への紹介を行っている。
③若者が選挙や政治全般へ関心を高めていくことを目的とし、参加した若者が福山の未来に関心を持ちまちづくりに主体的に関わっていくような人材育成につなげたい。
④「Web口座振替受付サービス」や「ペイジー収納サービス」など効率性や市民ニーズを総合的に判断する中で導入を検討する。

進する。
②高齢者おでかけ支援事業、買物支援事業において事業の担い手である運転ボランティアの高齢化やなり手不足などが課題であり、社会福祉協議会等諸団体と協議を深め、早急に有効な方策を講ずる。
③バス路線の利便性向上に加え、住民との協働による地域実態や利用者ニーズに対応した取り組みが重要であり、今年度から2力年で再編実施計画を策定する予定である。



生田 政代
公明党
(30分)

起立性調節障害の児童生徒への対応は

問

学校に行きたくても行けない、引きこもりにつながることもある起立性調節障害について、教育委員会の認識と学校現場での対応は。

答

起立性調節障害は、立ちくらみ、目まい、息切れ、頭痛など



宮地 徹三
公明党
(60分)

市長の市政運営は

問

市長の現在の思いは。

答

本市は今、次なる100年へと踏み出す重要な時期。これまでに福山駅前の再生でリノベーション手法の検討、福山ネウボラを開設。福山城築城400年の取り組みも基本方針が固まるなど、5つの挑戦が具体的に始動。100年

を伴う自律神経失調症であり、朝なかなか起きられない、目が覚めても頭痛や腹痛がして寝床から出られない等の症状があり、学校生活における影響もあると認識している。

児童生徒が起立性調節障害の診断を受けた場合、学校では全教職員が症状についての認識を共有し遅れて登校した際などは、受容的な声掛けや保健室等での学習を促すなど、体調に寄り添った対応に努めている。

先も輝きを放つ福山市であり続けるため、市民の福山への熱い思いと一人一人の力をまちづくりに生かしていくことが大切と考える。

年金制度改革は

問

無年金者救済の具体は。

答

公的年金の受給資格期間が25年から10年に短縮され本年8月から施行。対象の無年金者へは年金請求書が順次送付されている。本市は2418人が対象で、6月16日現在、年金請求者は821人。日本年金機構と連携を図り制度の周知と請求漏れ防止に取り組む。

※ペイジー収納サービス：スマートフォンや自宅のパソコンからインターネットを利用した納付やATMを利用した納付に対応する収納サービス。現金を用いることなく24時間どこにいても納付が可能となる。



能宗 正洋

誠友会
(50分)

人口減少社会における 少子化対策は

問 今後の事業所内保育所の推移は。

答 事業所内保育事業は現在6所で実施。市内4カ所で開始されている企業主導型保育事業は、施設設備等の基準を満たせば認可施設並みの助成を得られるなど企業



平松 正人

誠友会
(45分)

中心市街地の活性化および 女性の働き方改革は

問 ①福山駅前の再生と歴史・文化の保存活用は。

②情報通信技術を活用した在宅ビジネスモデルへの取り組みは。

答 ①福山城の遺構については市民の理解を得ながら適切な保存に取り組み、福山に誇りと輝きを

による保育実施の選択肢が増えたことから、今後増加すると考える。本市としては適正な保育環境が確保されるよう指導監督していく。

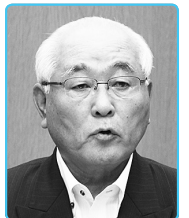
猫の終生飼養は

問 猫の飼い主への飼い方の啓発や啓発看板の設置は。

答 猫の飼い方や終生飼養等の啓発はホームページ等で行っており、猫の適正飼養を周知する看板等は、今後検討する。あらゆる機会を通じて猫の飼い主への啓発や指導を行っていく。

取り戻すべく駅前再生に取り組んでいく。また、(仮称)福山駅前再生ビジョン策定後は、行政、市民、地権者、事業者等が駅前再生の方向性を共有し、それぞれの役割を主体的に果たす中で民間投資が呼び込めるエリアに変えていく。

②今年度より地方創生交付金を活用したWeb系在宅ワーク支援事業に取り組んでいる。具体としては、子育て世代の女性などを主な対象としてパソコンを活用した在宅ワークのスキルなどを伝える研修や、その後の業務受注支援も行っていく予定である。



徳山 威雄

誠友会
(70分)

手話言語条例の制定は

問 ①難聴児教育を先進的に取り組んできた本市として、条例制定の考えは。

②学校における手話の普及など特徴ある条例の項目が必要では。

答 ①手話言語条例を制定した自治体の増加など、条例制定の機運の全国的な高まりも勘案し、本



河村 晃子

日本共産党
(73分)

LGBT支援策は

問 性的マイノリティーを巡る差別の解消や偏見の除去、権利を拡大するため、職員の研修強化、専門家による相談窓口の設置等を求める。

答 当事者団体と協働し講演会職員研修等に努めてきた。引き続き啓発事業や人権相談を行い、個

市も条例制定に向け取り組むよう指示した。

②条例制定に必要な項目については、他市の条例等も参考にし、本市の特色が生かせるよう検討する。

また、現在、約3割の公立小中学校において、学習発表会等で手話を取り入れた合唱、手話の体験活動、手話を使った読み聞かせなどの活動を実施している。今後、こうした取り組みを参考に教育活動や教育課程への位置付けや、条例の項目の扱いを関係部局等と協議し、検討する。

別の相談を通じて実態を把握する。

太田家住宅朝宗亭の保存を

問 国指定の重要文化財である朝の太田家住宅朝宗亭は老朽化が激しく、深刻な状況である。緊急の保存修理を求める。

答 公益財団法人文化財建造物保存技術協会に現地調査を依頼したが、さらに実測調査や耐震診断等を行う必要がある。今後、県や国に状況報告を行い、所有者や関係機関と緊密な連携を図りながら早期に修理ができるよう取り組む。



高木 武志
日本共産党
(72分)

国保税の引き下げを

問 市は、本年度から国保税の介護支援分を平均1人当たり1416円引き上げるとした。昨年度の決算剰余金等を活用し国保税の引き上げ中止を求める。

答 このたびの税率設定では財政調整基金、決算剰余金見込額などの財源を活用し1人当たり約1



川崎 卓志
市民連合
(70分)

ブックスタートの事業展開を

問 我が会派は、これまでブックスタートの事業化を再三要望してきた。ネウボラの一貫として、今こそ事業化を求める。

答 現在、市ではこんにちは赤ちゃん訪問事業で、おすすめ絵本のリストを渡し、図書館で実施しているおはなし会を紹介。9カ月

万3800円の負担軽減を図っており、さらなる抑制は困難である。

学校統廃合は止めること

問 市教育委員会は沼隈・内海町の小中学校7校を統廃合し千年小中一貫校とする再編計画を明らかにした。地域からは反対の声が聞かれる。住民合意が得られない計画の撤回を求める。

答 千年・内海中学校区の児童生徒数等の将来推計等を踏まえ、施設一体型の義務教育学校として再編整備する考え方を示した。

乳児健康相談では、図書館司書が読み聞かせを行っている。

また、市の3割を超える学区で民生委員・児童委員、福祉を高める会などが、地域で生まれた赤ちゃんに絵本を配るボランティア活動をされている。車座トークでは「絵本をいただきたいしかった。地域の方が見守ってくださっているという安心で子育て不安の解消につながった。」との声を伺った。

今後、地域で活動されているかたがたから、あらためてご意見を伺いながら内容を整理し、事業化に向けた具体的な検討を進める。



西本 章
市民連合
(75分)

第5期障がい福祉計画策定への取り組みは

問 来年度からの第5期障がい福祉計画策定が進んでいるが第4期計画の成果と課題を、次期計画へどう生かすのか。

答 2015年度から2017年度を計画期間とする第4期計画のうち、福祉的な就労から一般の



八杉 光乗
新政クラブ
(70分)

市民への情報発信の在り方は

問 必要とされる市政情報が市民の方に十分に届いていないと感じている。市民に対する情報発信の在り方は。

答 伝えるべき内容や対象者を明確にし、最適な広報手段を選択し、最も効果的なタイミングで発信する必要がある。市政の動きや

就労へ移行する目標は、ほぼ計画どおりの成果があったが、入所施設を退所して地域で生活を始める人数は現時点では目標値を下回っており、課題と受け止めている。次期計画では、一般就労への移行をさらに進めるとともに、障がいがあっても地域で安心して生活ができる福祉サービスの提供体制を確保するよう取り組む。また、当事者のかたがたから、広く意見を聞くため、意見交換会の開催、アンケート調査、パブリックコメントを実施する。

思いを明確なメッセージとともに伝えることにより、市政に対する信頼や満足度を高めていく。

定義見直し後の待機児童数は

問 待機児童の定義が見直しされた。本市の待機児童数は。

答 新定義では育休中は入所不承諾となり保護者が育休期間を延長した場合、待機児童数に含める。本市では、独自の取り組みとして産休・育休から円滑に職場復帰できるよう、入所予約制度を運用し、待機児童ゼロを継続している。

※ブックスタート：地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者に、絵本を開く体験と一緒に絵本を手渡し、心触れ合うひとときを持つきっかけをつくる活動。

問 同和行政は、市民の言論の自由を奪って「逆差別」となっている。市民アンケート結果では人権教育の推進について重要度、満足度が最も低い。さらに近隣のある自治体では約15年前に同和行政を撤廃している。付け加えるに寝た子を起こすこと

同和行政の早期終焉・撤廃は



石岡 久彌

無所属
(30分)

問 ① 大幅な再編案検討は対象地域の児童生徒の将来推計人口が主な理由と考えるが具体は、②開校をめざすとしている義務教育学校での教育内容の特徴は、③地域関係者が学校経営に参画する体制が必要では。

(仮称)千年小中一貫教育校の整備案は



岡崎 正淳

無所属
(30分)

答 等から、早期に同和行政撤廃宣言をされるよう提言する。
本市における同和行政は、2006年3月末をもって終了している。本市においては、市民の誰もが夢や希望を持って自己実現を図っていくことができるよう、今後とも人権施策基本方針に基づき、さまざまな人権課題の解決に向けて取り組んでいく。
※石岡議員の原稿はこれ以降もあったが、編集委員会と石岡議員の意見が不一致であったため、掲載していません。

答 ①平成40年を境に児童生徒数は600人台に転じ、その後減少傾向で推移する見込みである。
②9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する新しい種類の学校である。また、一貫教育の軸となる独自教科の創設や学年間で指導内容の入れ替えが可能となる。
③学校再編により、学校と関わる地域が広がるメリットを最大限に生かし、子どもたちを育てていく手法としてコミュニティスクールは有効な取り組みと捉え、他都市の事例も参考に検討する。

9月定例会の開催予定

9/4 (月)	★本会議 (市長提案説明など)
7 (木)	議会運営委員会
11 (月)	★本会議 (一般質問)
12 (火)	★本会議 (一般質問)
13 (水)	★本会議 (一般質問)
14 (木)	★本会議 (一般質問)
15 (金)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
19 (火)	予算特別委員会
20 (水)	予算特別委員会
25 (月)	議会運営委員会 ★本会議 (委員長報告など)
26 (火)	企業会計決算特別委員会
27 (水)	企業会計決算特別委員会
28 (金)	企業会計決算特別委員会

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。
(ただし、9月25日の本会議は午後1時からの予定。)

○★印の日は、本会議の生中継をインターネットで配信します。

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

☎084-928-1136

本会議・委員会を傍聴してみませんか！

本会議や委員会
は公開しています
ので、どなたでも
傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議の当日、次の場所で受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は受け付け順に交付します。



本会議場の議員席後方にある傍聴席

○本会議 → 議会棟5階の傍聴受付
(傍聴席72席のほか車いす4台分のスペース)

○委員会 → 議会棟2階の議会事務局庶務課
(傍聴席6～9席)

※本会議については、本庁舎1階ロビー、議会棟5階の傍聴受付ロビーおよび各支所のテレビで、議会中継をご覧いただけます。

※コミュニティスクール(学校運営協議会制度)：地域住民や保護者、学校長などで構成する学校運営協議会を設置し、教育目標を共有して、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進める制度。



委員会の活動(4月～6月)

4月から6月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	6/9	2017年度男女共同参画推進計画 - 国民健康保険事業の状況 - 交通安全教育推進モデル事業 - ふくやま未来づくり100人委員会 - 車座トーク - びんご圏域ビジョン など	文教経済	6/9	- 新事業創出支援事業 「LADY WORK CAFE」(レディワークカフェ) - 有害鳥獣による農作物被害対策 - 環境月間の取り組み - 特別史跡廉塾ならびに管茶山旧宅の保存整備 - 福山100NEN教育の推進に向けた今後の取り組み など
	6/30	- 付託された議案(4件)と請願(1件)の審査 - ばらのまち福山応援寄附金における記念品等の見直し		6/30	付託された議案(7件)の審査
民生福祉	6/9	- 臨時福祉給付金等の支給 - 子ども健全育成支援事業 - 障がい福祉サービス等の実施状況 - 介護保険の実施状況 - 子ども・子育て支援事業計画の実施状況 - 感染症対策 - 放課後児童クラブ利用児童数の調べ 「福山ネウボラ」の実施 など	建設水道	6/9	2016年6月梅雨前線豪雨災害に係る災害復旧事業 - 瀬戸川流域における治水対策の進捗状況 - 福山・笠岡地域公共交通網形成計画の策定 - 大規模盛土造成地の変動予測調査の実施 - 工事検査の執行 - 走島海底送水管の本復旧工事 - 産業廃棄物の大量保管事案 など
	6/30	- 高齢者保健福祉計画2018の策定 - 第5期障がい福祉計画の策定 など		6/30	- 付託された議案(4件)の審査 2016年度ため池耐震診断の結果 など

◆特別委員会

	開催日	調査項目
都市整備	6/19	- 福山駅前の再生 - 川南地区まちづくり - 道路・公園・総合体育館の整備 など

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。

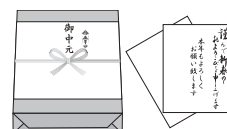
なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

虚礼廃止にご理解を！

政治家は、日頃からお世話になった人でも**お中元**や**お歳暮**を贈ることは禁止されています。

また、**暑中見舞い**や**年賀状**などのあいさつ状を出すことも禁止されています。

皆さまのご理解をお願いします。



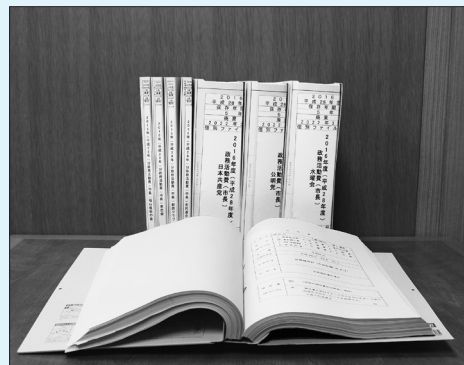
政務活動費の収支報告書等を公開しています

政務活動費は、地方自治法と条例に基づき、市政の調査研究その他の活動に充てるため、議会の会派に交付されているものです。

2016年度（平成28年度）は改選期に当たるため、任期が始まる5月から2017年（平成29年）3月までに各会派に交付された政務活動費の執行状況となっています。

政務活動費について、本市では議会改革の一環として、使途の透明性を高め、各会派の活動内容をより明らかにするため、収支報告書および実績報告書に加えて支出書と（1円以上の）領収書、市外視察などの報告書の添付を義務付けており、その報告書類を公開しています。

報告書類は、市役所3階の市政情報室または議会事務局に申請すれば、誰でもすぐに無料で閲覧できます。ご不明な点がございましたら、議会事務局庶務課（☎084-928-1123）までお問い合わせください。



2016年度（平成28年度）5月分～3月分 政務活動費決算内訳

（単位：円）

会派名 項目	水曜会 (15人)	公明党 (7人)	誠友会 (5人)	市民連合 (4人)	日本共産党 市議団(4人)	新政クラブ (3人)	高志会 (1人)	福山維新の会 (1人)
政務活動費 交付額①	21,450,000	10,010,000	7,150,000	5,720,000	5,720,000	4,290,000	1,430,000	1,430,000
1 調査研究費	752,790	63,620	284,230	304,280	48,020	0	0	0
2 研修費	3,534,104	1,453,534	1,505,580	348,072	423,480	1,908,486	52,340	120,886
3 資料作成費	0	0	3,027	0	80,000	0	0	0
4 資料購入費	1,408,097	673,349	548,762	317,997	675,388	323,001	130,870	0
5 広報費	9,642,635	971,703	1,074,301	2,936,323	1,236,817	0	59,400	1,309,088
6 広聴費	0	0	0	0	213,225	0	0	0
7 要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
8 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
9 人件費	0	0	0	0	1,659,443	0	0	0
10 事務所費	4,804,318	2,418,417	1,345,685	1,189,262	1,309,263	800,655	372,387	0
支出合計②	20,141,944	5,580,623	4,761,585	5,095,934	5,645,636	3,032,142	614,997	1,429,974
返還額(①-②)	1,308,056	4,429,377	2,388,415	624,066	74,364	1,257,858	815,003	26

— 支出項目の説明 —

1 調査研究費

会派が行う、市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費

2 研修費

会派が研修会を開催するために要する経費及び他の団体等が開催する研修会に会派として参加するために要する経費

3 資料作成費

会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

4 資料購入費

会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

5 広報費

会派が、その活動及び市政について市民に報告するために要する経費

6 広聴費

会派が行う、市民からの市政及び会派の活動に対する要望及び意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費

7 要請・陳情活動費

会派が要請及び陳情活動を行うために要する経費

8 会議費

会派が各種会議を開催するために要する経費及び他の団体等が開催する各種会議に会派として参加するために要する経費

9 人件費

会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

10 事務所費

会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費

議会報告会のご案内

市議会では、次の日程で議会報告会を開催します。

議員が議会の仕組みなどを説明するとともに、意見交換会では今後の市政に生かしていくため皆さまからのご意見をお伺いします。

どの会場でもご参加いただけます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

※手話通訳、要約筆記があります。

【報告会の内容】

①議会の仕組み ②常任委員会からの報告 ③意見交換会

月	日	曜日	時 間	会 場	担当班(常任委員会)
8	20	日	10:30~12:00	福山市役所本庁舎 3階大会議室	1班(総 務)
	21	月	19:00~20:30	福山市役所本庁舎 3階大会議室	2班(民生福祉)
	22	火	19:00~20:30	東部市民センター 大ホール	3班(文教経済)
	24	木	19:00~20:30	西部市民センター 大会議室	4班(建設水道)
	25	金	19:00~20:30	人権交流センター ホール	1班(総 務)
	27	日	10:30~12:00	北部市民センター 多目的ホール	2班(民生福祉)
	28	月	19:00~20:30	ぬまくま市民交流センター 市民交流室	3班(文教経済)
	29	火	19:00~20:30	神辺文化会館 小ホール	4班(建設水道)

班のメンバーは次のとおりです。

(◎班長、○副班長)

担当班 (常任委員会)	名 前					
1班 (総 務)	◎高田 健司 今岡 芳徳	○能宗 正洋 高木 武志	宮地 毅 宮地 徹三	神原 真志 法木 昭一	宮本 宏樹 稲葉誠一郎	
2班 (民生福祉)	◎藤原 平 榊原 則男	○木村 秀樹 中安加代子	八杉 光乗 五阿彌寛之	石岡 久彌 熊谷 寿人	河村 晃子 池上 文夫	
3班 (文教経済)	◎大塚 忠司 土屋 知紀	○生田 政代 大田 祐介	喜田 紘平 西本 章	平松 正人 塚本 裕三	岡崎 正淳	
4班 (建設水道)	◎門田 雅彦 早川 佳行	○連石 武則 小林 茂裕	奥 陽治 川崎 卓志	石口 智志 村井 明美	瀬良 和彦 徳山 威雄	

ふくやま市議会だより編集委員会



※委員長が代わりました。

委員長 池上 文夫
副委員長 木村 秀樹
委員 宮地 毅 平松 正人 生田 政代 西本 章 村井 明美

編集後記

編集委員会におきましては、今号より池上副議長を委員長とする新たな体制がスタートしました。本市の市議会だよりは常に、議会の透明性を求め、市民の皆さまに読みやすく、分かりやすい紙面構成に努めています。本年度の議会報告会は8月20日より開催予定です。今回は各常任委員会へで班編成しそれぞれの所管事務における報告をいたします。そのことにより、より専門性を持った報告会となります。議会報告会において、皆さまと意見交換をさせていただき、今後の議会活動へ生かしてまいります。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしています。(平松正人)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

